

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	2年生	期 別	通年	科目の実務経歴	無
授業科目名	東洋医学概論Ⅱ			担当教員	木村 博吉		
授業の方法	講 義			単位数	2単位	時間数	60時間
学修内容	東洋の自然哲学、東洋医学における人体の構造と機能の考え方、病理観などの基本的知識を理解し、病気の予防、診察、治療において適切な対応ができるように、東洋医学的診断法である弁証論治について学ぶ。						
授業の到達目標	2) 医学的知識 4. 東洋医学の自然哲学・健康観・病理観について理解する。						
授業計画	前 期			後 期			
	回	テーマ		回	テーマ		
	1	オリエンテーション 第3章 東洋医学の思想 第4節 病因病機 II. 病機の復習		1	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 4) 臟腑弁証 (脾・胃の病証)		
	2	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 1) 八綱弁証		2	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 4) 臟腑弁証 (脾・胃の病証)		
	3	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 1) 八綱弁証		3	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 4) 臟腑弁証 (脾・胃の病証)		
	4	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 1) 八綱弁証		4	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 4) 臟腑弁証 (肺・大腸の病証)		
	5	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 1) 八綱弁証		5	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 4) 臟腑弁証 (肺・大腸の病証)		
	6	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 2) 八綱弁証		6	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 4) 臟腑弁証 (肺・大腸の病証)		
	7	中間試験/第5章弁証論治 第1節弁証 I. 弁証方法 3) 気血津液弁証		7	中間試験/第5章弁証論治 第1節弁証 I. 弁証方法 3) 臟腑弁証 (腎・膀胱の病証)		
	8	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 2) 気血津液弁証		8	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 3) 臟腑弁証 (腎・膀胱の病証)		
	9	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 2) 気血津液弁証		9	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 3) 臟腑弁証 (腎・膀胱の病証)		
	10	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 2) 気血津液弁証		10	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 3) 臟腑弁証 (肝・胆の病証)		
	11	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 2) 気血津液弁証		11	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 3) 臟腑弁証 (五臓の複合の病証: 臟腑兼病)		
	12	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 2) 気血津液弁証		12	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 4) 臟腑弁証 (五臓の複合の病証: 臟腑兼病)		
	13	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 2) 気血津液弁証		13	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 5) 臟腑弁証 (五臓の複合の病証: 臟腑兼病)		
	14	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 3) 臟腑弁証 (心・小腸の病証)		14	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 6) 六経弁証 7) 衛気営血弁証 9) 三焦弁証		
15	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 4) 臟腑弁証 (心・小腸の病証)		15	第5章 弁証論治 第1節 弁証 I. 弁証方法 6) 六経弁証 7) 衛気営血弁証 10) 三焦弁証			
評価基準	評価: 90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)						
評価方法	小テスト10%、中間試験40%、期末試験50% ※小テストは合格点(60点以上)を採るまで何度でも再試験を行います。			実務経歴	臨床・研究経験: 約6年(本校専任教員と兼任) 埼玉医科大学東洋医学科の研修生を経て非常勤職員(平成14年~平成20年) 所属: 全日本鍼灸学会、日本東洋医学会、現代医療鍼灸研究会		
履修上の注意	『新版 東洋医学概論』の教科書は内容充実しており、初学者には難解な部分のありますので、原則として、授業内で配布する資料及び小テストを時系列にファイリングしてください。			授業時間外の学習	小テストの内容は授業のまとめとなっておりますので、反復して忘れないようにしましょう。		
使用教材	教科書: 東洋療法学校協会「新版 東洋医学概論 第1版」 参考図書: 東洋学術出版「針灸学 基礎編」			連絡先	質問や相談があるときは事務課を通して、訪ねてください。		